

3. アンケート調査票（高齢者施設①）

調査票（高齢者施設①）

被災時から復興期における高齢者への段階的支援とその体制のあり方の調査研究

アンケート調査票（高齢者施設①）

※ 調査票の記入にあたっては、「ご記入に際してのお願い」をご一読ください。

※ この調査票で記載している調査対象の「貴施設」とは、封筒のあて名の施設を示しています。

1. 貴施設について

問1. はじめに、貴施設の概要について教えてください（「貴施設」とは、封筒のあて名の施設となります）。

-1.貴施設の住所	位置する県（1つに〇）	1 岩手県	2 宮城県	3 福島県
	位置する市町村（記入）	（ ）市・町・村		
-2.貴施設の運営者	1 自治体	2 社会福祉法人	3 医療法人	
	4 営利法人	5 NPO	6 その他（	）
-3.貴施設の種類	1 特別養護老人ホーム（広域型）	2 特別養護老人ホーム（地域密着型）		
	3 老人保健施設	4 認知症高齢者グループホーム		
-4.貴施設の規模	貴施設の定員規模はどの位ですか （※ショートステイは除く）		定員（	）人
	-5.施設の設立時期	西暦	年	

問2. 福祉避難所についてうかがいます。平成23年3月11日の東日本大震災（以下、「今回の震災」とします）の発生以前に、福祉避難所の設置に関する協定等を自治体と結んでいましたか。また、今回の震災で福祉避難所を開設しましたか。（1つに〇）

- 1 協定を結んでおり、今回も福祉避難所を開設した
- 2 協定を結んでいたが、今回は福祉避難所が開設できなかった
- 3 協定を結んでいたが、今回は指定を受けなかった
- 4 協定を結んでいなかったが、任意で開設し、後から福祉避難所としての指定を受けた
- 5 協定を結んでおらず、福祉避難所も開設しなかった
- 6 その他（

問3. 今回の震災が発生した平成23年3月11日夕方時点の、貴施設の建物のおおよその被災状況※を教えてください。（1つに〇）

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------|
| 1 津波による建物流出 | 2 津波による全壊 | 3 津波によらない全壊 | 4 大規模半壊 |
| 5 半壊 | 6 建物の一部損壊 | 7 床上以上の浸水 | 8 床上浸水 |
| 9 床下浸水 | 10 いずれも該当しない | 11 特に被災していない | 12 不明 |

※「被災状況」についての目安

【全壊】損壊若しくは流失した部分の床面積が延べ床面積の70%以上に達したもの、又は主要構造部の被害額がその時価の50%以上に達した程度のもので、

【大規模半壊】損壊部分が延べ床面積の50%以上70%未満、経済的被害が40%以上50%未満のもので、

【半壊】損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに使用できるもので、具体的には損壊部分が延べ床面積の20%以上70%未満のもので、又は主要構造部の被害額が時価の20%以上50%未満のもので、

【一部損壊】全壊及び半壊に至らない程度の破損で補修を必要とする程度のもので、ただし、ガラスが数枚破損した程度のごく小さいものは除く。

【床上浸水】床より上に浸水したものと及び全壊・半壊には該当しないが、土砂竹木の堆積により一時的に居住することができないもの。

【床下浸水】床上浸水に至らない程度に浸水したもの。

2. 防災計画・連携体制等について

問4. 貴施設では、今回の震災の発生前に既に防災計画は策定されていましたか。また、今回の震災を受け、防災計画の見直しを行う予定はありますか。（1つに○）

- 1 震災前に策定しており、その内容で十分であったため、見直す予定はない
- 2 震災前に策定しており、不十分な点はあるが、見直す予定はない
- 3 震災前に策定していたが、内容を見直す予定である（既に見直した）
- 4 震災前に策定していなかったため、策定を行う予定である（既に策定を行った）
- 5 震災前に策定しておらず、今後も策定の予定はない

→問4-1 問4の3、4に○をつけた方にうかがいます。具体的な見直し事項について教えてください。（3つまで○）

- | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1 被害の想定規模 | 2 情報収集や広報 | 3 搬送体制 | 4 救援体制 |
| 5 介護体制の確保 | 6 他との相互支援 | 7 地域に対する支援 | 8 広域での連携体制 |
| 9 自主防災活動 | 10 物資確保・備蓄 | 11 避難経路や場所 | 12 その他（ ） |

問5. 貴施設では、今回の震災の発生前にBCP（事業継続計画）は策定していましたか。（1つに○）

- 1 震災前に策定していた
- 2 策定していなかったが、震災後に策定した
- 3 策定していないが、今後策定する予定である
- 4 策定しておらず、今後も策定の予定はない
- 5 BCPが何か知らない

問6. 貴施設では、防災訓練を実施していますか。（1つに○）

「1 はい」に○をつけた場合は、1年間あたりで実施する防災訓練の回数も教えてください。

- 1 はい（年 回程度）
- 2 いいえ

→問6-1 問6の1に○をつけた方にうかがいます。防災訓練は、他施設等と共同で実施することもありますか。共同で実施している対象を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|------------|------------|---------|----------|
| 1 自施設のみで実施 | 2 自治会・地域住民 | 3 利用者家族 | 4 ボランティア |
| 5 自治体 | 6 学校 | 7 他施設 | 8 その他（ ） |

問6-2 引き続き、問6の1に○をつけた方にうかがいます。今回の震災では、防災訓練に基づいた行動ができましたか。（1つに○）

- 1 できた 2 おおむねできた 3 あまりできなかった 4 できなかった

問6-3 引き続き、問6の1に○をつけた方にうかがいます。今回の震災の経験から、訓練の見直しを行う予定はありますか。（1つに○）

- 1 予定がある 2 予定はない

問7. 今回の震災で、貴施設では、地域の在宅高齢者の安否確認や心身状態の確認や支援等を行いましたか。（1つに○）

- 1 主に自分達の施設で把握している高齢者についてのみ行った
 2 **自分達の施設で把握している高齢者に加え、今まで把握していなかった高齢者についても行った**
 3 特に行わなかった

→ 問7-1 問7の2に○をつけた方にうかがいます。貴施設が確認や支援等を行った対象はどのような方ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 避難所にいる高齢者（指定外の避難所含む） 2 貴法人が運営する福祉避難所の高齢者
 3 貴法人以外が運営する福祉避難所の高齢者 4 自分の住まいに残っている高齢者
 5 その他（ ）

問7-2 引き続き、問7の2に○をつけた方にうかがいます。貴施設が確認や支援等を行った理由について教えてください（あてはまるものすべてに○）

- 1 震災前より要援護者班※として実施予定だった 2 自治会から要望があった
 3 近隣住民から要望があった 4 地域の実態把握のため
 5 その他（ ）

※要援護者班

内閣府の「災害時の要援護者の避難支援ガイドライン」(平成18年3月)では、避難所に要援護者の窓口を設置し、要援護者からの相談対応、情報伝達等を実施するとともに、未確認の要援護者を自治体等に連絡し、救助確認作業を進める「要援護者班」の設置が求められている。

なお、本調査票での「要援護者」は高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、妊婦、5歳未満の乳幼児、日本語に不慣れた外国人等災害時に1人で避難が難しい住民、「要援護高齢者」は要介護高齢者と虚弱高齢者を指す。

問7-3 引き続き、問6の2に○をつけた方にうかがいます。確認や支援等を行う際にリスト等ありましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 地域住民のリストはなかった 2 地域住民のリストはあったが、見られなかった
 3 地域住民のリストがあり、見せてもらった 4 要援護者のリストはなかった
 5 要援護者のリストはあったが、見られなかった 6 要援護者のリストがあり、見せてもらった
 7 その他（ ）

問8. 今回の震災において、食料、水等の備蓄は最低何日分くらい必要だと思われましたか。

（ ）日分程度

3. 東日本大震災で実施された地域内の支援と広域支援の状況

東日本大震災では、施設の全壊や介護体制の問題等により、施設利用者が別の施設に移らざるを得ない状況が発生しました。また、職員の退職等により、施設が事業を継続するための体制確保にも大きな課題が生じました。ここでは、そうした施設間での要援護高齢者の調整・職員の調整についてうかがいます。

～ 今回の震災の影響で、貴施設の利用者が他の施設に移ったケースについてうかがいます ～

問9. 今回の震災の影響で、貴施設の利用者で他の施設に移動した人はいましたか。（1つに〇） 「1 はい」の場合は、今回の震災以降で他の施設に移った人数の計（9月末時点・死亡退去等は除く）も教えてください。

1 はい 計（ ）人（9月末時点の計）

2 いいえ

問9-7に進んでください

◆問9-1～問9-6について

問9の1に〇をつけた方（他施設の施設に移動した利用者があった施設）にうかがいます。

問9-1 他施設への利用者の移動は、いつ頃から開始されましたか。開始した月を記載してください。

（ ）月から開始

問9-2 貴施設の利用者が他施設に移動した理由は何ですか。主な理由を教えてください。（〇は3つまで）

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1 事業の廃止/休止 | 2 建物が使用できなくなった | 3 スペースが飽和状態だった |
| 4 職員の不足 | 5 利用者の状態の悪化 | 6 家族の転居等 |
| 7 利用者/家族からの要望 | 8 職員等現場からの意見 | 9 その他（ ） |

問9-3 主にどのような経緯で他施設に利用者の受け入れを依頼しましたか。（1つに〇）

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|
| 1 市町村の紹介 | 2 県の紹介 | 3 社会福祉協議会（市町村）の紹介 |
| 4 社会福祉協議会（県）の紹介 | 5 地域包括支援センターの紹介 | 6 事業者団体※の紹介 |
| 7 ボランティア団体等の紹介 | 8 同一法人・関連グループの紹介 | 9 協定の相手先からの派遣 |
| 10 直接施設間で交渉 | 11 その他（ ） | |

※「事業者団体」について

ここでは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等、各介護事業者の連合組織を指す。

問9-4 貴施設の利用者を受け入れた施設について、上位3つまで選んでください。（3つまで〇）

- | | | |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1 貴法人の施設もしくは貴法人の系列や協定を結んでいる施設（同じ市町村） | 2 貴法人の施設もしくは貴法人の系列や協定を結んでいる施設（違う市町村だが県は同じ） | 3 貴法人の施設もしくは貴法人の系列や協定を結んでいる施設（違う県） |
| 4 紹介された施設（同じ市町村） | 5 紹介された施設（違う市町村だが県は同じ） | 6 紹介された施設（違う県） |

問9-5 貴施設の利用者を受け入れた施設の種類を教えてください。（3つまで〇）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 特別養護老人ホーム（広域型） | 2 特別養護老人ホーム（地域密着型） |
| 3 老人保健施設 | 4 認知症高齢者グループホーム |
| 5 小規模多機能型居宅介護事業所 | 6 その他（ ） |

問9-6 利用者が受入れ先の施設に移動する際に、最も多い移送手段を教えてください。（1つに○）

- 1 救急車両による移送 2 貴施設の車両による移送 3 移行先の施設車両による移送
4 自治体の車両による移送 5 ボランティアによる移送 6 その他（ ）

◆問9-7

問9の2に○をつけた方（他施設への利用者受入れがなかった施設）にうかがいます。

問9-7 貴施設が、他施設に利用者の受入れを依頼しなかった主な理由は何ですか。（3つまで○）

- 1 事業運営上問題がなかった 2 現体制で乗り切れると考えた 3 利用者の状態の悪化の懸念
4 家族等がこの近くにいた 5 利用者／家族からの要望 6 職員等現場からの意見
7 他施設が受入れ先として妥当かどうか判断できなかった
8 受入れ先を探す余裕がなかった
9 受入れ先が見つからなかった
10 相談先など、どのようにしたらよいか判らなかった
11 特になし
12 その他（ ）

～ 今回の震災の影響で、貴施設が他施設から利用者を受け入れたケースについてうかがいます ～

問10. 今回の震災によって、貴施設が他の施設から利用者を受け入れることはありましたか。（1つに○）

「1 はい」の場合は、受入れ数が最大となった日の人数と、何月のことを教えてください。

1 はい（ ）人（ ）月

2 いいえ

問10-7に進んでください

◆問10-1～問10-6

問10の1に○をつけた方（他施設からの利用者受入れがあった施設）にうかがいます。

問10-1 他の施設の利用者の受入れはいつ頃から開始しましたか。開始した月を記載してください。

（ ）月

問10-2 他の施設の利用者の受入れのきっかけは何ですか。主なものを教えてください。（1つに○）

- 1 自治体間の協定等があった 2 あらかじめ施設間の協定等があった
3 県・市から依頼があった 4 他施設から直接が依頼あった
5 事業者団体を通じて依頼した 6 その他（ ）

問10-3 受入れを依頼してきたのはどのような施設ですか。上位3つを選んでください。（3つまで○）

- 1 貴法人の施設もしくは貴法人の系列や協定を結んでいる施設（同じ市町村） 2 貴法人の施設もしくは貴法人の系列や協定を結んでいる施設（違う市町村だが県は同じ） 3 貴法人の施設もしくは貴法人の系列や協定を結んでいる施設（違う県）
4 紹介された施設（同じ市町村） 5 紹介された施設（違う市町村だが県は同じ） 6 紹介された施設（違う県）

問 10-4 受入れを依頼してきた施設の種類の種類を教えてください。(3つまで〇)

1 特別養護老人ホーム（広域型）	2 特別養護老人ホーム（地域密着型）
3 老人保健施設	4 認知症高齢者グループホーム
5 小規模多機能型居宅介護事業所	6 その他（ ）

問 10-5 貴施設で受入れ可能な人数は、施設定員の何割増し程度までと考えますか。(1つに〇)

1 2割増程度	2 2割～4割増程度	3 4割～6割増程度
4 6～8割増程度	5 8～10割増程度	6 その他（ ）

問 10-6 利用者を貴施設まで移送する手段の中で、最も多かったものを教えてください。(1つに〇)

1 救急車両による移送	2 貴施設の車両による移送	3 移行先の施設車両による移送
4 自治体の車両による移送	5 ボランティアによる移送	6 その他（ ）

◆問 10-7

問 10 の 2 に〇をつけた方（他施設の利用者受入れがなかった施設）にうかがいます。

問 10-7 貴施設に、他施設からの利用者受入れが発生しなかった理由は何ですか。主な理由を教えてください。(3つまで〇)

1 特に要望が無かった	2 事業の廃止/休止	3 建物が使用できなくなった
4 スペースが飽和状態だった	5 職員の不足	6 職員等現場からの意見
7 受け入れる利用者の状態の悪化が懸念された		
8 自分達の施設が受入れ先として妥当かどうか判断できなかった		
9 その他（ ）		

問11. 大規模な災害等によって地域全体の機能が失われ、貴施設が利用者にサービス提供することが困難となって他施設への移動の必要が生じる、または災害を受けた他施設から要援護高齢者の受入れを求められる等の要援護高齢者の支援体制について、どうあるべきと考えますか。以下に対するご意見を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない
-1 施設が被災した場合を想定した要援護高齢者の移動・受入れ等に関する体制づくりは必要だ	1	2	3	4
-2 要援護高齢者の移動・受入れ等は、各施設で考えるべきだ	1	2	3	4
-3 あらかじめ自治体間で要援護高齢者の移動・受入れ等に関する協定等を結んでおくべきだ	1	2	3	4
-4 あらかじめ施設間で要援護高齢者の移動・受入れ等に関する協定等を結んでおくべきだ	1	2	3	4
-5 多少環境や体制が不十分でも、基本的にはもともとの施設で要援護高齢者は見るべきだ	1	2	3	4
-6 早めに見極め、必要な場合は速やかに要援護高齢者の受入れ等を進めるべきだ	1	2	3	4
-7 要援護高齢者の受入れ先は、遠くても以前から利用している施設と同じ種類の施設であることが大事だ	1	2	3	4
-8 要援護高齢者の受入れ先は、近ければ以前から利用している施設と違う種類の施設であってもよい	1	2	3	4
-9 要援護高齢者の受入れ先は、同じ事業者団体に属している施設がよい	1	2	3	4
-10 被災時でも、他施設に要援護高齢者を移動することは要援護高齢者本人・家族からの反対が強い	1	2	3	4
-11 被災時でも、他施設に利用者を移すことには施設職員からの反対が強い	1	2	3	4

問12. 広域での要援護高齢者の支援体制を考えると、施設間のニーズのマッチング、移動・受入れの調整は、どのように行われるべきと考えますか。（1つに○）

1 市町村による調整	2 都道府県による調整	3 市町村の社会福祉協議会による調整
4 県の社会福祉協議会による調整	5 地域包括支援センターによる調整	6 事業者団体による調整
7 施設間協定等の相手先との調整	8 施設間による直接交渉	9 そうしたものは不要
10 その他（ ）		

～ 今回の震災によって人員不足が生じ、職員の派遣ニーズが生じた場合についてうかがいます ～

問13. 貴施設では、今回の震災の影響による職員不足から、他施設より職員の派遣が行われましたか。（1つに○）
「1 はい」の場合は、派遣職員の職種に係らず、受入れが最大となった日の人数とその月を教えてください。

1 はい 最大（ ）人（ ）月	2 いいえ
-----------------	-------

問13-6に進んでください

◆問13-1～問13-5
問13の1に○をつけた方（他施設からの職員の派遣があった施設）にうかがいます。

問 13-1 貴施設がはじめて職員の派遣の要望を出したのはいつですか。また、はじめて職員の派遣を受入れたのはいつですか。該当する月を記載してください。

①はじめて職員派遣の要望を出した月	()月
②実際に職員の派遣を受入れた月	()月

問 13-2 貴施設が職員の派遣を依頼した理由は何ですか。主なものを教えてください。(3つまで○)

1 従来の利用者への対応の増加	2 新たに利用者が増加したことによる対応の増加
3 地域の要介護高齢者対応の発生による業務増加	4 震災前より人員は不足気味であった
5 職員の退職等による人員不足	6 職員の過労の緩和
7 利用者／家族からの要望	8 職員等現場からの意見
9 その他 ()	

問 13-3 貴施設が職員の派遣を受入れた主なきっかけは何ですか。(1つに○)

1 自治体間の協定等があった	2 あらかじめ施設間の協定等があった
3 県・市に依頼をした	4 他施設に直接依頼した
5 事業者団体を通じて依頼した	6 その他 ()

問 13-4 貴施設が派遣を希望した職種、派遣された職種について○をつけてください。また、派遣された場合は○をつけ、平均的と考えられる派遣期間(同一人物)を記載してください。

	-1.希望した (○)	-2.派遣された (○)	同一人物が派遣された際の 平均的な派遣期間 (※派遣された場合のみ)
①ケアマネジャー			()日程度
②相談員			()日程度
③ヘルパー			()日程度
④理学療法士			()日程度
⑤作業療法士			()日程度
⑥保健師			()日程度
⑦看護師			()日程度
⑧医師			()日程度
⑨その他 ()			()日程度

問 13-5 職員の派遣に対する貴施設の要望は、どの程度まで反映されましたか。(それぞれ1つに○)

①派遣時期	1 早い対応	2 ほぼ要望どおり	3 やや時間がかかった	4 遅かった
②派遣期間	1 要望以上	2 ほぼ要望どおり	3 やや短かった	4 短かった
③人材	1 要望以上	2 ほぼ要望どおり	3 やや要望から外れた	4 要望から大きく外れた

◆問 13-6
問 13 の 2 に○をつけた方（他施設から職員の派遣受けがなかった施設）にうかがいます。

問 13-6 貴施設が、他施設から職員の受け入れを行わなかった主な理由は何ですか。（3 つまで○）

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1 特に必要が生じなかった | 2 震災前より人員体制は十分であった |
| 3 職員の退職等が余り発生しなかった | 4 職員は不足していたが、新規に雇用できた |
| 5 利用者／家族からの要望 | 6 職員等現場からの意見 |
| 7 馴染みの関係の確保等、利用者への配慮 | |
| 8 内部の団結のため、外部からの職員の受け入れは好ましくないと考えた | |
| 9 派遣される職員の資質が確認できなかった | |
| 10 派遣の要望を出したが、派遣時期・期間・条件等が折り合わなかった | |
| 11 どのようにしたらよいかわからなかった | |
| 12 特になし | |
| 13 その他（ | ） |

問 14. 職員を受け入れる際に、支援物資として持参していただくことが望まれたのは何ですか。（3 つまで○）

- | | | | |
|--------------|-------------|-----------|---------|
| 1 水・食料品 | 2 紙おむつ等衛生用品 | 3 福祉用具 | 4 衣類等 |
| 5 車両発電機等 | 6 車両・自転車 | 7 ガソリン等燃料 | 8 通信機器類 |
| 9 パソコン等情報機器類 | 10 その他（ | | ） |

問 15. 貴施設が職員を受け入れる場合、その職員が最低どの程度の期間いてくれることが望ましいと考えますか。（1 つに○）

- | | | |
|--------------|---------------|----------|
| 1 1 週間未満でもよい | 2 1 週間～2 週間程度 | 3 2 週間以上 |
|--------------|---------------|----------|

～ 今回の震災の影響で、貴施設が他施設に職員を派遣した場合についてうかがいます ～

問 16. 今回の震災で、貴施設は他施設に職員を派遣しましたか。（1 つに○）

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 16-4 に進んでください

◆問 16-1～問 16-3
以下は、問 16 の 1 に○をつけた方（他施設に職員を派遣した施設）にうかがいます。

問 16-1 他施設への職員の派遣はいつ頃から開始しましたか。開始した月を記載してください。

（ ）月

問 16-2 他施設に職員を派遣した主な理由は何ですか。（1 つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 自治体間の協定等があった | 2 あらかじめ施設間の協定等があった |
| 3 県・市から依頼があった | 4 他施設から直接依頼があった |
| 5 事業者団体から依頼があった | 6 その他（ |
| | ） |

問 16-3 貴施設が派遣した職員を教えてください。（派遣した場合は○）

また、派遣した場合は、最も平均的な派遣期間（同一人物）を記載してください。

	-1.派遣した （派遣した 場合は○）	-2.同一人物を派遣した際の 平均的な派遣期間 （※派遣した場合のみ）
①ケアマネジャー		（ ）日程度
②相談員		（ ）日程度
③ヘルパー		（ ）日程度
④理学療法士		（ ）日程度
⑤作業療法士		（ ）日程度
⑥保健師		（ ）日程度
⑦看護師		（ ）日程度
⑧医師		（ ）日程度
⑨その他（ ）		（ ）日程度

◆問 16-4～問 16-5

問 16 の 2 に○をつけた方（他施設に職員の派遣を行わなかった施設）にうかがいます。

問 16-4 貴施設に、他施設から職員の派遣の要望はありませんでしたか。（1 つに○）

- | | |
|-----------|----------|
| 1 要望はなかった | 2 要望はあった |
|-----------|----------|

問 16-5 他施設に職員の派遣を行わなかった理由は何ですか。主なものを教えてください。（3 つまで○）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 従来の利用者に対する対応の増加 | 2 新たに利用者が増加したことによる対応の増加 |
| 3 地域の要介護高齢者対応の発生による業務増加 | 4 震災前より人員は不足気味であった |
| 5 職員の退職等による人員不足 | 6 職員の過労の緩和 |
| 7 利用者／家族からの要望 | 8 職員等現場からの意見 |
| 9 その他（ ） | |

問17. 大規模な災害等によって地域全体の機能が失われ、貴施設に他施設から職員の受入れの必要が生じる、または災害を受けた他施設から職員の派遣を求められる等の介護体制確保のための支援体制について、どうあるべきと考えますか。以下に対するご意見を教えて下さい。（あてはまるもの1つに○）

	そう 思う	大体 そう 思う	あまり 思わ ない	そう 思わ ない
-1 施設が被災した場合を想定した職員の派遣・受入れ等に関する体制づくりは必要だ	1	2	3	4
-2 職員の移動・受入れ等は、各施設が考えるべきだ	1	2	3	4
-3 あらかじめ自治体間で職員の派遣・受入れ等に関する協定等を結んでおくべきだ	1	2	3	4
-4 あらかじめ施設間で職員の派遣・受入れ等に関する協定等を結んでおくべきだ	1	2	3	4
-5 多少環境や体制が不十分でも、基本的には従来からの職員で施設は運営すべきだ	1	2	3	4
-6 早めに見極め、必要な場合は速やかに職員の受入れ等を進めるべきだ	1	2	3	4
-7 職員の受入れ先は、遠くても現在勤務している施設と同じ種類の施設であることが大事だ	1	2	3	4
-8 職員の受入れ先は、近ければ現在勤務している施設と違う種類の施設であってもよい	1	2	3	4
-9 職員の移動・受入れは、同じ事業者団体等に属している施設間がよい	1	2	3	4
-10 被災時でも、他施設から職員を受入れることは、利用者本人・家族からの反対が強い	1	2	3	4
-11 被災時でも、他施設から職員を受入れることは、施設職員からの反対が強い	1	2	3	4
-12 派遣される職員には、あらかじめ災害時派遣の訓練を行っておくことが必要である	1	2	3	4
-13 各職種から成るチームで派遣され、そのチームだけで自立した活動ができることが望ましい	1	2	3	4

問18. 介護体制確保のための支援体制において、施設間の要望のマッチング、移動・受入れの調整等は、どのように行われるべきと考えますか。（1つに○）

1 市町村による調整	2 都道府県による調整	3 市町村の社会福祉協議会による調整
4 県の社会福祉協議会による調整	5 地域包括支援センターによる調整	6 事業者団体による調整
7 施設間協定等の相手先との調整	8 施設間による直接交渉	9 そうしたものは不要
10 その他（ ）		

問19. 貴施設では、大規模災害下でも事業を継続するために、広域（異なる県等）で利用者の受入れや職員の派遣を行うことができる連携体制を構築していましたか。（1つに○）

1 震災前から構築していた	2 構築していなかったが、震災後に構築した
3 構築していないが、今後構築する予定である	4 構築しておらず、今後も構築の予定はない
5 わからない	6 その他（ ）

問19-1. 問19の1～3に○をつけた方にうかがいます。その広域での連携先（想定含む）は、どのようなところですか。（あてはまるものすべてに○）

1 自治体による協定先	2 事業者団体	3 1、2以外のつながりで連携する事業所
4 特に想定していない	5 あてがない	6 その他（ ）

医療には、DMATという災害時医療派遣チームによる広域での支援体制の仕組みがあります。DMATは、災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームであり、医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、急性期の大規模災害等の現場で活動できる機動性を有する等、専門的な訓練を受けた医療チームです。DMATは自治体の災害拠点病院を中心に設置されています。今回の震災では、広域的調整体制として職員の派遣・要援護高齢者の社会福祉施設への受入れが厚生労働省より示されましたが、被災地のニーズ把握やマッチング等の課題が残ります。また、広域の支援体制の一つとして、亜急性期までの活動を視野に入れた「災害時介護派遣チーム」の必要性が考えられます。

問20. 「災害時介護派遣チーム」は、どのような職種で構成されていることが望ましいと考えますか。望ましいと考える職種の上位3つを教えてください。（3つまで○）

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|---------|---------|
| 1 ケアマネジャー | 2 相談員 | 3 ヘルパー | 4 理学療法士 | 5 作業療法士 |
| 6 保健師 | 7 看護師 | 8 医師 | 9 その他（ | ） |

問21. 被災地のニーズ把握やマッチング、「災害時介護派遣チーム」の派遣調整等を行うのに効果的なのは、どのような方法でしょうか。（1つに○）

- | | | |
|------------------|-------------------|--------------------|
| 1 市町村による調整 | 2 都道府県による調整 | 3 市町村の社会福祉協議会による調整 |
| 4 県の社会福祉協議会による調整 | 5 地域包括支援センターによる調整 | 6 事業者団体による調整 |
| 7 施設間協定等の相手先との調整 | 8 施設間による直接交渉 | 9 そうしたものは不要 |
| 10 その他（ | | ） |

問22. 貴施設から職員の派遣を行う場合、概ね何名程度をどの程度の期間派遣することが可能ですか。数字で記載してください。

（ ）名程度 （ ）日間程度

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。